

新型コロナウイルス感染症対策本部 (通算：第25回)

日 時 令和2年7月28日(火)
午前9時～9時45分
場 所 災害対策本部室

出席者：市長、副市長、教育長、企画部長、総務部長、市民生活部長、福祉部長、子育て健康部長、産業環境部長、建設部長、都市整備部長、上下水道部長、教育振興部長、生涯学習部長、社会福祉協議会事務局長、安城消防署長、危機管理監、危機管理課長、危機管理係長、地域防災係長、子育て健康部次長、健康推進課長、健康推進係長

1 本部長あいさつ

- ・昨日、県で76名の新規感染者が公表され、1名が安城市在住であった。
- ・連日のように市内在住者の新規感染者が出ており、気がかりである。現時点で7名。
- ・県指針では、警戒領域に入った。長期化になることを危惧している。
- ・台風シーズンが到来し、避難所開設の機会もあると思うが、避難者が密集することで感染症の拡大が危惧される。感染症対策を早急に検討する必要がある。
- ・昨日(7月27日)、避難所での感染症対策マニュアルを作成のため、医師など専門家を集めて、会議を行った。
- ・台風等の自然災害にも注意を払い、身を引き締めて業務に当たってほしい。

2 市主催のイベントや集会の実施可否の基準について

(危機管理課)

- ・まずは、県内の感染状況を報告する。7月前半では13名だったが、後半では635名となり大幅な増加である。
- ・7月26日の新規感染者80名のうち、50名が経路不明者である。市内では全体では7名の新規感染者だが、7月後半で5名。うち1名が感染経路不明である。県の状況を見ると、市内でも感染経路不明者が増加する可能性がある。
- ・県の判断指標については、危険領域に入った。
- ・今朝の中日新聞の記事によると、判断基準については4つの判断指標に改定すると出ている。
- ・市主催のイベントや集会の実施可否の基準(案)について説明。
- ・適用日は7月28日とする。
- ・参加者5,000人の上限撤廃については国や県の方針が再度見直され、8月末まで継続する。屋内では収容定員の半分程度、屋外では距離を十分に確保するとあるが、5,000人以下であることは前提である。

(企画部)

- ・感染者が増加した場合、市内の施設等の閉鎖はあるのか。また、今後に市独自の基準を出す予定はあるか。

(危機管理課)

- ・県の新しい方針に基づいて市も動いており、市単独では今のところ閉鎖等は考えておらず、独自の基準を設ける予定はない。国や県の動向を注視する。
- ・なお、イベントの開催については、この基準を守れていないものがあれば、必ず開催について見直しを行うこと。

3 避難所における感染症対策ガイドライン（案）について

(危機管理課)

- ・ガイドラインの策定状況について、医療専門家等を招き、コロナ蔓延時における自然災害発生時の避難所運営について、昨日（7月27日）対策検討会議を行ったことを報告。

4 その他

(市民生活部)

- ・8月1日よりコンビニでの住民票交付等を100円引きの100円とする。

(企画部)

- ・掲示板に掲載したが、休暇中に連絡が取れるよう体制を整えておくように。会計年度任用職員等、連絡網に載っていない職員でも自宅待機などの連絡を要する場合がありますので注意すること。